

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙

平成 22 年 6 月 1 日発行

平成 22 年度 静岡県赤十字安全奉仕団総会 報告

平成 22 年 5 月 9 日に日本赤十字社静岡県支部において静岡県赤十字安全奉仕団総会を開催いたしました。

この総会では、次の議案について審議され、原案どおり承認されました。

- 第 1 号議案 平成 21 年度活動報告について
- 第 2 号議案 平成 21 年度決算報告について
- 第 3 号議案 平成 22 年度活動計画（案）について
- 第 4 号議案 平成 22 年度予算（案）について
- 第 5 号議案 役員改選について（役員、専門部会員）
- 第 6 号議案 規約改正について

総会後は講演に代えて、藤本孝雄様の「防災ボランティアの集い」への参加報告及び、研修として、委員長 上條美昭様の「静岡県赤十字安全奉仕団とは」、副委員長 葛谷友子様の「赤十字の各種講習会について」が行われ、参加者は一様に奉仕団及び赤十字についての認識を新たにしていました。

世界赤十字デーキャンペーンの報告

日 時 平成 22 年 5 月 16 日 日曜日 10:00～16:00
会 場 イオンモール志都呂 1F セントラルコート
内 容 AED 心肺蘇生法体験コーナーの運営並びにステージ上での
AED デモンストレーション

今年度も安全奉仕団から 5 名の参加協力があり、世界赤十字デーキャンペーンを終えることができました。AED の体験コーナーでは「一度は経験しておきたかった」と体験される方、乳幼児をお持ちのお母様が「子どもの場合はどんなふうにしたら？」とみなさん積極的に取り組まれました。また、若いカップルや元気な小学生が AED 体験を希望してくださり、「駅や学校でみたことがある」と AED への認識も深まっていることが印象に残りました。午後には 2 回、ステージ上で AED デモンストレーションを行いました。

イベント会場では勇気を持って体験できにくい場合も多いと思いますが、気軽に体験できるような工夫をしながらこのような機会を利用して赤十字事業を PR していくとともに講習会の普及に今後も協力させていただきたいと思っております。

(報告者 遠藤弘美)

平成 21 年度静岡県赤十字安全奉仕団活動報告

○平時の活動

- (1) 訓練・研修関係
 - ・ 団員対象の研修会の開催
- (2) イベント救護
 - ・ 大道芸ワールドカップ in 静岡 2009 の救護活動
 - ・ 焼津港マラソンの救護活動
- (3) 赤十字行事への参加協力
 - ・ 世界赤十字デーキャンペーン（富士市）の参加協力
- (4) 広報紙に関すること
 - ・ 団広報紙「**Safe Volu**」の編集と発行
- (5) 定期総会（5月10日）、委員会（4月11日、1月30日）の開催
- (6) 「防災とボランティアのつどい」への参加（1月24日）

○災害時の活動

- (1) 国内の災害について、赤十字の活動についての情報を団員へメール配信
 - 水難事故注意報 2回
 - 8月11日の地震 1回
 - 伊豆半島東方沖群発地震 1回
 - 新型インフルエンザ 4回
 - 赤十字活動関係等 4回

○その他の活動

その他、団の目的達成のために必要な活動

平成22年度静岡県赤十字安全奉仕団活動計画

○平時の活動

- (1) 訓練・研修関係
 - ・ 総合防災訓練、地域防災訓練、支部・施設災害救護訓練・こころのケア研修等への参加とその検証、評価
 - ・ 団員対象の講習会、研修会の開催
- (2) イベント救護
 - ・ 大道芸ワールドカップ in 静岡2010
11月4日(木)・5日(金)・6日(土)・7日(日)の救護活動
 - ・ その他の救護活動
- (3) 赤十字行事への参加協力
 - ・ 世界赤十字デーキャンペーンへの参加協力
(イオン志都呂ショッピングモール5月16日)
 - ・ その他赤十字関係行事への参加協力(JRC大会)
- (4) 講習普及活動に関すること
 - ・ その他、講習普及に関する活動
- (5) 広報紙に関すること
 - ・ 団広報紙「*Safe Volu*」の編集と発行(毎月1回)
- (6) 「防災とボランティアのつどい」への参加
- (7) 定期総会、委員会の開催
- (8) 地域奉仕団が行う奉仕への協力
- (9) 新規事業
 - ・ 救急法競技会開催に向けての準備
 - ・ 幼児安全法講習時の託児への協力
 - ・ 他都道府県の奉仕団との交流活動

○災害時の活動

災害救護活動

ここでいう「災害救護」とは「医療救護」のみではなく、災害により被災された方々が自立するまでの自立支援活動の全てを含みます。

○その他の活動

その他、団の目的達成のために必要な活動

静岡県赤十字安全奉仕団平成22年度歳入歳出予算書(案)

歳入総額 392,000 円

歳出総額 392,000 円

差引残額 0 円

歳入の部

(単位:円)

項	目	本年度予算額	備考
交付金		350,000	
	県支部交付金	350,000	県支部交付金
雑収入		1,057	
	利子収入	100	
	その他収入	957	
前年度繰越金		40,943	
	前年度繰越金	40,943	
歳入合計		392,000	

歳出の部

(単位:円)

項	目	本年度予算額	備考
事務費		45,000	
	通信費	40,000	切手・ハガキ代等
	雑費	5,000	事務用雑費
会議費		92,000	
	会議費	82,000	役員会旅費等
	総会費	10,000	
活動費		245,000	
	研修・訓練費	175,000	研修参加費・訓練参加旅費等
	派遣活動費	65,000	支部行事等派遣旅費
	資材費	5,000	活動資材
予備費		10,000	
		10,000	
歳出合計		392,000	

※各項目の流用を認めるものとする。

静岡県赤十字安全奉仕団役員名簿

任期

自 平成20年5月11日

至 平成22年5月10日

委員長 上 條 美 昭 (西部)

副委員長 葛 谷 友 子 (西部)

々 大 石 優 (中部)

々 前 田 絵 美 (東部)

委 員 本 間 江 理 子 (中部)

々 亀 山 寿 栄 (西部)

々 (兼会計) 川 瀬 昌 昭 (西部)

監 事 望 月 祐 介 (中部) ※

々 野 村 英 晴 (東部) ※

顧 問 渡 邊 眞 一 (東部)

々 池 川 勉 (西部)

静岡県赤十字安全奉仕団専門部会員名簿

任期

自 平成 20 年 5 月 11 日

至 平成 22 年 5 月 10 日

◎赤十字事業部会（世界赤十字デーキャンペーン、フォローアップ講習、ワールド・ファーストエイド・デー等の赤十字事業を担当）

部会長	遠藤弘美	(西部)
副部長	福澤文子	(西部)
々	植木富貴子	(中部)
々	千野清江	(中部)

◎イベント救護部会（大道芸ワールドカップ等のイベント救護の企画運営等を担当）

部会長	神田則子	(中部)
副部長	山下トナ工	(西部)
部会員	坂井典子	(西部)
々	宮野勇	(西部)
々	大森太一	(中部)

◎訓練・研修部会（県総合防災訓練、地域防災訓練、支部・施設災害救護訓練、団員研修等の企画運営を担当）

部会長	兼子輝男	(西部)
副部長	大滝峰雄	(西部)
部会員	仲野啓二	(西部)
々	井田素子	(西部)
々	寺田和仁	(西部)
々	鈴木美里	(西部)
々	野村英晴	(東部)

◎機関紙・広報部会（団機関紙「**Safe Volu**」の編集と発行を担当）

部会長	牧野香名子	(西部)
副部長	中村尚	(西部)
部会員	伊藤勝造	(西部)

静岡県赤十字安全奉仕団規約に関する細目について

改正案対照表

改正前	改正後
<p>第10条（会議）関係 その他の会議とは、「専門部会連絡会」及び「<u>ネット上委員会</u>」をいう。</p>	<p>第10条（会議）関係 その他の会議とは、「専門部会連絡会」をいう。</p>
<p>第15条（入団及び登録）関係 入団届は、「<u>赤十字奉仕団会員登録票『A登録』</u>」別紙2とする。</p>	<p>第15条（入団及び登録）関係 入団届は、別紙2とする。</p>
<p>第16条（退団及び除籍） 退団届は、別紙3とする。 4年毎の再登録は、「<u>赤十字奉仕団会員登録票『A登録』</u>」別紙2の提出をもって再登録手続きをしたものとする。</p>	<p>第16条（退団及び除籍） 退団届は、別紙3とする。 4年毎の再登録は、別紙2の提出をもって再登録手続きをしたものとする。</p>